

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公表番号】特表2020-524944(P2020-524944A)

【公表日】令和2年8月20日(2020.8.20)

【年通号数】公開・登録公報2020-033

【出願番号】特願2019-570077(P2019-570077)

【国際特許分類】

H 04 L 27/26 (2006.01)

H 04 B 1/7143 (2011.01)

H 04 W 72/04 (2009.01)

【F I】

H 04 L 27/26 1 1 3

H 04 B 1/7143

H 04 W 72/04 1 3 6

H 04 W 72/04 1 3 2

H 04 W 72/04 1 3 4

H 04 W 72/04 1 3 1

【手続補正書】

【提出日】令和3年5月7日(2021.5.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

送信機によるワイヤレス通信のための方法であって、

スロット内のスロット内周波数ホッピングが有効または無効にされるかを決定するステップと、

送信時間間隔(TTI)の前記スロットのシンボルの第1のセット内でアップリンク制御情報(UCI)を送信するために利用可能な周波数リソースの第1のセットおよび前記スロットのシンボルの第2のセット内でUCIを送信するために利用可能な周波数リソースの第2のセットを、スロット内周波数ホッピングパターンに基づいて決定するステップであって、前記スロット内周波数ホッピングパターンが、前記スロット内の前記UCIの送信に割り振られたシンボルの数に基づいて決定される、ステップと、

周波数リソースの前記決定された第1のセットおよび周波数リソースの前記第2のセットを使用して前記UCIを送信するステップとを含む、

方法。

【請求項2】

前記ホッピングパターンに対応する周波数ホッピングを有効または無効にするための構成が、ユーザ機器固有である、

請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ホッピングパターンに対応する周波数ホッピングを有効または無効にすることが、半静的に構成される、

請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記ホッピングパターンが、前記スロット内のフロー ティングホッピングシンボル位置に基づく、

請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記スロットが、前記UCIの送信に割り振られたシンボルの第1のセットおよび前記UCIの送信に割り振られていないシンボルの第2のセットを含み、

シンボルの前記第1のセットが、偶数のシンボルを含み、

前記フロー ティングホッピングシンボル位置が、シンボルの前記第1のセット内の中央のシンボルに対応し、または

前記スロットが、前記UCIの送信に割り振られたシンボルの第1のセットおよび前記UCIの送信に割り振られていないシンボルの第2のセットを含み、

シンボルの前記第1のセットが、奇数のシンボルを含み、

前記フロー ティングホッピングシンボル位置が、シンボルの前記第1のセット内のシンボルの数を2で割った値に最も近い2つの整数のうちの1つであるシンボル数を有するシンボルに対応する、

請求項4に記載の方法。

【請求項6】

スロット内のスロット内周波数ホッピングが有効または無効にされるかを決定する手段と、

送信時間間隔(TTI)の前記スロットのシンボルの第1のセット内でアップリンク制御情報(UCI)を送信するために利用可能な周波数リソースの第1のセットおよび前記スロットのシンボルの第2のセット内でUCIを送信するために利用可能な周波数リソースの第2のセットを、スロット内周波数ホッピングパターンに基づいて決定する手段であって、前記スロット内周波数ホッピングパターンが、前記スロット内の前記UCIの送信に割り振られたシンボルの数に基づいて決定される、手段と、

周波数リソースの前記決定された第1のセットおよび周波数リソースの前記第2のセットを使用して前記UCIを送信する手段とを含む、

装置。

【請求項7】

コンピュータ上で実行されたときに、請求項1から5のいずれか一項に記載の方法を実行するための命令を含むコンピュータプログラム。